

ちば里山新聞

(第 54 号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148
 ☎ 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

講習会で「安全」を確かめよう

刈払い機・チェーンソー軸に講座メニューも充実

ちば里山センターは、「安全」はすべてに優先するとの認識のもと、会員を中心とした活動関係者の安全意識や技術の向上に努めております。主軸となるのは、刈払い機およびチェーンソーの取扱いに関するもので、初心者を含む取り扱い技術の向上・定着を目指す講座と、さらに高度な理解を目指した修了証の交付が受けられる講座があります。

ほかにも、スズメバチに対する安全対策や各里山団体が主催する講座などさまざまなメニューがありますので、里山活動に参加する方はぜひ必要な講座を選択して受講されるようお勧めします。(今年度のこれからの予定については、3 ページ講習会・イベント案内を参照ください。)

H31 年度の予定については、次号の里山新聞(H31 年 2 月発行予定)に掲載するほかホームページにもアップしますのでご覧下さい。



チェーンソー入門講座での立木伐倒体験↑

里山相談や里山環境学習を推進 エコメッセ 2018in ちば 10 月 8 日



10 月 8 日に幕張メッセ国際会議場で開催された今年度の「エコメッセ」にちば里山センターが参加し、「もりの総合窓口」を開設して里山に関する何でも相談を受けたほか、パネル展示と里山新聞、イベントチラシの配布、安全講習会開催の案内、里山団体主催のイベント案内等の広報活動を行いました。



また、里山環境学習の一環として、「木の実釣り」(写真⑥)や「竹のカエル作り」(写真⑦)など、ゲームや工作体験のほか、きさらづ里山の会柴崎副会長の協力を得て、クロモジの葉のポプリを無料配布しました。



主催のエコメッセ実行委員会の発表では、来場者数は 9,000 人。当センターブースには子供たちを軸に 150 人が訪れました。

エコプロダクツ 2018
 12/6(木) 7(金) 8(土)
 会場
 東京ビッグサイト
 東ホール

「森林からはじまるエコライフ展」でお待ちしています

里山に関する何でも相談「もりの総合窓口」の開設、毎日無料で体験できるイベントを実施しています。お気軽にお越しください。ブースは F-29。

* 出展団体情報・会場へのアクセス等の詳しくは、ホームページをご覧ください。

エコプロダクツ 2018

里山じまん②
きさらづ里山の会

“山づくり” が体験できる里山です



バーベキューや安全講習会ができる
 ベースキャンプ

好評をいただいています。

活動地の一部で、荒れ放題に茂った竹林を全伐したところ、大量の不法投棄物が出現しました。企業の協力や助成金を取り付けて、収集した上、苗木を植えて里山再生をはかっているところです。今は、苗木の育成のための下刈り、成長期のスギの枝打ち、間伐、また収集した投棄物の処分等に取り組んでいるところです。さらに、間伐はじめ伐採した樹木の活用のため、薪割り機を導入し、里山資源を有効活用していきたいと考えています。(きさらづ里山の会 代表 木村仁)

初期の活動では、作業小屋やバイオトイレなど、人の集まれるベースキャンプをつくりました。毎年開催しているのが、チェーンソー講習会。事故防止が主目的ですが、メンテナンスのレクチャーは、いつも参加者から



針広混交林目指して整備中

“ サンプスギ 花粉の少ない 優良種 ”

「さんむフォレスト」が記念かるたを作成

このかるたは、当センター正会員の「さんむフォレスト」が、創立20周年を記念して作成したもので、かつてサンプスギによって栄えた山武の歴史



一般頒布は、1,500円。

紹介されました。また、市関係部署や市内小中学校にもそれぞれ配布されています。

問い合わせ先：(有)稗田総合建築設計事務所

☎ 0475-52-7510 稗田 忠弘

ホームページ <http://www.sanmu-forest.com>

安全コラム ⑥

SOS！里山で「救急対応メモ」

里山団体が作業している里山フィールドは、通常、その位置を説明するのも難しいような場所にあることが多いと思われます。救助を求める際にその位置の的確な説明ができるようにあらかじめ準備しておきたいもの。併せて、救急対応の手順などを記載したメモを用意するとよいでしょう。

氏名、性別、生年、血液型等に加え、かかりつけの医院や常備薬などの情報を記載し、いざという時に団体内で共通に利用できるようにします。

ある団体では、こうしたメモをファスナーのついたプラ袋に保険証写しと一緒にに入れて、各人が身に付けておくことにしているとのこと。 (写真)なお、山奥などの場合は、傷病者を分かりやすい目標まで搬送し、救急車を待つようにするのがよいですね。



(まとめ:編集事務局)

講習会・イベントのご案内

どうぞ奮ってご参加ください

*事務局に回答のあったものの中から 12 月～2 月に実施されるイベントの紹介です。その他のイベント情報等は、ちば里山センターのホームページをご覧ください。

チェーンソー特別講座(資格取得講習会)

主催 きみつ里山活動ネットワーク

日時 12月19日(水)～20日(木)の2日間 (小雨決行)

場所 千葉県森林組合 南部支所 植畑研修センター

参加費 15,100 円(受講料、テキスト代、保険代)

定員 15 名(先着順) ※11/30 締切

申込・問合せ

☎ 090-8745-3395 (担当・尾形)

メール moushikomi@kimitu-satoyama.net

FAX 0439-27-0277 (事務局)

基本的な使い方、メンテナンス方法を学ぶ(修了証の発行なし)

チェーンソー安全講習会～立木の伐倒とメンテナンス～

日時 31年 1月 19日(土) 9:00～15:00

参加費 1,500 円

場所 木更津市笹子の森林

申込・問合せ

☎ 080-3324-8749 (担当・前田)

Eメール kisarazu.satoyama@gmail.com

詳しくは ホームページをご覧ください。

[きさらづ里山の会](#)

検索



緑のおもしろ講座

近郊の自然・地域文化などを楽しみながら学ぶ講座です。一味違った自然を見つけてみましょう。

参加費：各回 1,500 円 (12/9 のみ別途 200 円)

主催：千葉県森林インストラクター会

『緑のおもしろ講座 千葉』

(会場：千葉市都市緑化植物園)

■ ミニ・クリスマスツリー、リース作り

日時 12月9日(日) 10:00～12:00

■ 機織りってどうやるの? ～講義と実演体験～

日時 2月17日(日) 10:00～14:00

申込・問合せ ☎ 080-5048-4390 (担当・森池)

詳しくは、千葉県森林インストラクター会のホームページをご覧ください。

『緑のおもしろ講座 柏』

(会場：あけぼの山農業公園資料館2階)

■ 楽しいお庭の管理(講座)

日時 12月16日(日) 10:00～12:00

■ 植物にもあるみ、女の話(講座)

日時 2月24日(日) 10:00～12:00

申込・問合せ ☎ 090-2913-1581 (担当・高澤)

<http://www.chiba-shinrin-instructor.com>

自然観察会 いちはら里山クラブ

小湊鉄道 養老溪谷駅前から上総大久保まで
房総ふれあいの道を歩く。

<コース>

養老溪谷駅→根向橋

→房総ふれあいの道

→御里津大橋→

手掘りトンネル→

不動の滝→上総大久保駅

(到着 14 時頃・解散)

日時 12月1日(土) 養老溪谷駅 10:40 集合

(小湊鉄道 五井駅発 9:25→養老溪谷駅着 10:32)

募集人数 30 名(先着順、締切間近かです)

問合せ 090-3691-7909(会長・石崎)

申込先 090-2741-8134(事務局・小川)



里山でカップラーメンを食べよう

焼いも・たくあん・黒文字茶・パパイア茶、無料サービス!

3.5km の森林セラピーロードを散策し、みんなでカップ
ラーメンを食べるイベント。

<コース>

安馬谷青年館→八幡神社

→福性院→安馬谷里山→

横山宅→順礼堂山前→

安馬谷青年館



日時 12月2日(日) 10:00～15:00頃

参加費 500円

場所 南房総市安馬谷青年館(集合)

申込・問合せ (担当・横山)

☎ & FAX 0470-46-3154 090-2758-2407

主催 南房総市観光協会

人口減少下での団体運営キーワード

“関係人口”セミナー開催 市原 10 月 22 日

被災地の復興や里山の再生などの活動団体の運営キーワード「関係人口」に関するセミナーが、市原市市民会館で開催されました。主催は市原市 NPO 協議会。

講師の秋田典子・千葉大園芸学部准教授(写真右端)は、「関係人口」の定義並びに阪神淡路や東北大震災の被災地における具体的な取り組みについて、また、NPO 法人「のろし」代表の峯川大さんは市原市鶴舞の里山で学生たちで行っている共存の森ネットワークの活動事例などをそれぞれ紹介しました。



関係人口：地域と多様に関わる人々を指す。人口減少や高齢化による担い手不足の状況にあって、地域によっては若者を中心に変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。(総務省 HP から)

今回のセミナーを企画した赤松理事長は、当センター正会員(市津・ちはら台自然楽校・代表)でもありますが、「いま私たちが取り組んでいる里山活動はまさに「関係人口」による運営が行われているわけですが、被災地復興や里山活動など地域おこし活動の進展に伴い、新しい概念として整理されつつあるところだと思います。大いに参考にして里山団体の運営や会員増強の実効につなげていきたいと思ひます。」と語りました。

「みどりの再生事業」が始まっています

ことし 9 月から 3 年間で 15 のカリキュラム

この事業は、津波災害等の甚大な海岸林の再生、竹林の拡大対策など、森林再生活動に関する各種研修や実践作業を行うもので、今回で 3 期目。今回は、2018~2020 年度の 3 年間。広く県民の参加を呼び掛けています。参加は 16 歳以上の方で随時申し込みを受け付けています。事前に下記まで申し込み・登録下さい。(申込書に記入・押印)

申し込み・問い合わせ先： 県民参加によるみどりの再生事業



この事業は緑の
募金が活用され
ています

実行委員会事務局(公益社団法人千葉県緑化推進委員会)

☎ 0438-60-1521

詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県緑化推進委員会

里山の風にゆられて ⑩



ミゾソバ<溝蕎麦> タデ科タデ属

ミゾソバは蕎麦に似ているのでその名がある。ミゾソバにも実が付き、昔、飢饉時には食べられたようだ。よく、有用でない植物には、イヌ・・とかカラス・・とかが名前の前に付けられるが、ミゾソバは有用だったようだ。

写真・文 赤松義雄 H30.10.30 袖ヶ浦市椎の森で

〜〜編集後記〜〜

今年、森林整備のものさしをいくつか勉強した。伐倒講習の基本、受け口の斜め切りは伐根直径の4分の1、角度は 30 度~45 度の追い口は受け口の高さの下から3分の2程度の位置を水平に切り込み、追口の深さはツルの幅が伐根直径の 10 分の1程度。これら数字の根拠に初めて触れた。森林を明るくするには、陰性の植物の生育にはどの程度の照度がいるか？森林の立木を何本伐倒するか？それに役立つ相対幹距比、相対照度はものさしになる。目指す森林整備、ものさしを使うと納得がいくし、何より「見える化」できる。(F.T)

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896(平日 9:00~17:00)

E-mail info@chiba-satoyama.net ホームページ <http://www.chiba-satoyama.net/>